

# 学 会 録 事

## 1. 2019年度第1回持ち回り評議員会

第1回持ち回り評議員会(2019年2月4日～2月18日)を開催し、【議案1】「日本藻類学会会則第3条第4号と日本藻類学会学会賞選考規程に基づき、学術賞(2019年3月授与)を川井浩史氏に授与する。」および【議案2】「日本藻類学会会則第3条第4号と日本藻類学会学会賞選考規程に基づき、第15回研究奨励賞(2019年3月授与)を大沼亮氏、および松崎令氏に授与する。」の可否を審議した。その結果、国内評議員16名のうち【議案1】について13名、【議案2】について13名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。

## 2. 2019年度第2回持ち回り評議員会

第2回持ち回り評議員会(2019年2月25日～3月11日)を開催し、【議案1】「次期和文誌編集委員長を芹澤 如此古会員とすることを承認する。」の可否を審議した。その結果、国内評議員16名のうちについて14名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。

## 3. 日本藻類学会第43回大会(京都)報告

### (1) 日本藻類学会第43回大会(京都)

上記大会を2019年3月15日(金)～17日(日)京都大学吉田南キャンパスにて開催した。

大会1日目は、午後に編集委員会、評議員会を行った。2日目は、口頭発表(2会場)、ポスター発表(奇数番号)、総会、懇親会を行った。3日目は、口頭発表(2会場)、ポスター発表(偶数番号)、公開シンポジウム「琵琶湖における藍藻類ブルームの現状と問題点、対策と展望」を行った。

また、3月15日(金)には、ワークショップA「HPLCによる色素解析セミナー」およびB「琵琶湖博物館見学会」を行った。

### (2) 編集委員会・評議員会

大会1日目(3月15日)15:00より京都大学総合人間学部棟2階1207室にて、英文誌および和文誌の合同編集委員会を行った。

英文誌については、小亀一弘英文誌編集長から「Phycological Research」の2018年度および2019年度の編集状況および年間投稿状況に関する報告があった。2018年度については66巻が総頁数330頁、掲載論文数37編であったこと、2019年度については67巻1号に12編が掲載され、2号に10編の掲載予定で、3号以降の受理論文数は3月1日現在13編であることが報告された。編集にかかった日数、投稿者の国名、2017年までのインパクトファクターの推移等が報告された。副編集長に1名の新任と1名の退任があったことが報告された。次に、ワイリー・パブリッシング・ジャパン社の岩崎祥代氏から2018年度の出版状況・成果等をまとめた年次報告書についての説明

があった。

和文誌については須田彰一郎編集委員長より「藻類」の2018年度および2019年度の編集状況に関する報告があった。2018年度については66巻に6編の原著論文のほか、藻類最前線、特集：研究奨励賞受賞記念、論文賞受賞記念に加え、大会時のワークショップの説明等の報文18編、大会プログラムと同講演要旨、企画記事、学会録事等が掲載され、総頁数は192頁であったとの報告があった。2019年度については67巻の刊行計画と編集方針の説明があった。和文誌「藻類」の論文賞は、投稿・掲載論文の少なさから引き続き見送ることになった。次期編集委員について徐々に新たなメンバーに引き継ぐ形を取る方針が了承された。また、次期編集長に就任予定の芹澤如此古会員が副委員長に就任した。

評議員会は編集委員会終了後、同会場にて16:30より行われた。2019年度総会に提出する報告事項・審議事項などに関して審議が行われた。内容に関しては総会の項を参照されたい。

### (3) 2019年度総会

大会2日目(3月16日)16:45より青葉山コモンズ2階にて、総会を行った。奥田一雄学会会長、宮下英明大会会長の挨拶の後、野崎久義会員(東京大学)を議長に選出し、議事に入った。

### 【報告事項】

#### ・庶務関係

(1) 会員状況(2019年2月28日現在の雑誌発送会員)：名誉会員3名、普通会员537名(国内・一般402名、国内・学生91名、外国44名)、団体会員42名、賛助会員7名、「藻類」国内定期購読15件(2019年6月1日現在)。

(2) 2018年度事業報告：1) 日本藻類学会第42回大会・評議員会・総会の開催(東北大学青葉山新キャンパス、2018年3月23日～25日)、2) 日本藻類学会第42回大会企画公開シンポジウム「沿岸域のモニタリングー藻場の過去・現在・未来」の開催(2018年3月25日、東北大学青葉山コモンズ大講義室) 3) 同大会ミニシンポジウム「海藻と動物～忘れちゃいけないその関係～」の開催(2018年3月25日、青葉山コモンズ2階第3講義室)、4) 藻類学ワークショップの開催「藻類採集会」(2018年3月26日、東北大学大学院農学研究所附属女川フィールドセンター)、「女川視察と乾しノリ生産加工施設の見学会」(2018年3月26日、女川町、東松島市)、4) 和文誌「藻類」66巻1号～3号の発行(3, 7, 11月発行)、5) 英文誌「Phycological Research」66巻1～4号の発行(1, 4, 7, 10月発行)、6) 持ち回り評議員会の実施(6回)、7) AlgaeBaseのスポンサーとしてのサポート、8) 日本藻類学会特別賞・岡村賞の授与(2019年3月授与)と募集、選考(2019年3月授与)、9) 日本藻類学会学術賞・山田賞の授与(2018年3月授与)と募集、選考(2019年3月授与)、10) 第14回日本藻類学会研究

奨励賞の選考、授与と第15回日本藻類学会研究奨励賞の募集、11) 第21回日本藻類学会論文賞の授与と第22回日本藻類学会論文賞の選考、12) 和文誌「藻類」の転載許可状況（申請なし）、13) 自然史学会連合の事業に参加 2018年度自然史学会連合総会開催（詳細については「藻類」67巻1号に掲載）、14) 日本分類学会連合の事業に参加 第18回総会およびシンポジウム開催（詳細については「藻類」67巻1号に掲載）15) 水産・海洋科学研究連絡協議会の事業に参加 平成30年度第1回協議会開催、平成30年度第2回協議会開催（詳細については「藻類」66巻3号および67巻1号に掲載）、16) 和文誌「藻類」バック

ナンバーの学会HPへの掲載状況（第64巻第3号まで閲覧・ダウンロード可能（2019年3月現在））、17) 学会HPによる情報配信と記載内容の更新（掲載：大会案内、学会・シンポジウム等のお知らせ11件、研究助成の募集0件、諸賞の募集9件、教員・研究員の公募4件、その他のお知らせ4件；更新：学会役員・研究奨励賞・論文賞等の学会資料集、大会案内など）、18) 同報メールによる情報配信登録数：275件（2019年3月現在）、2018年度配信数：22回（主な内容：集会・シンポジウム等のお知らせ12件、教員・研究員の公募3件、諸賞の募集3件、研究助成の募集0件、その他4件）、19) 第19回マ

表1. 2018年度一般会計決算（2018.1.1-2018.12.31）

取 入 (円)		支 出 (円)	
会 費	5,367,130	和文誌経費	1,782,339
普通（国内・一般）	3,421,000	英文誌経費	6,775,000
普通（国内・学生）	395,130	編集費	57,000
外国会員	281,000	和文誌編集補助費	40,000
団体会員	1,060,000	英文誌編集補助費	17,000
賛助会員	210,000	庶務費	297,738
和文誌関係収入	496,600	事務用品費	11,010
定期購読	163,350	会議費	41,440
バックナンバー	5,250	通信印刷費	204,088
別刷・超過頁代	206,000	諸雑費	41,200
広告代	119,570	幹事旅費補助	0
著作権許諾料金	2,430	大会補助費	120,000
英文誌関係収入	2,490,414	自然史学会連合分担金	20,000
超過頁代	282,500	分類学会連合分担金	10,000
版權還付金	2,207,914	レンタルサーバー代	6,994
受取利息	58	AlgaeBaseへの寄付	50,000
		派遣旅費補助	0
小 計	8,354,202	小 計	9,119,071
前年度繰越金	13,802,248	次年度繰越金	13,037,379
合 計	22,156,450	合 計	22,156,450

表2. 2018年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算（2018.1.1-2018.12.31）

取 入 (円)	支 出 (円)
前年度繰越金 2,337,614	各賞用雑費 26,572
受取利息 10	記念品費 75,000
	次年度繰越金 2,236,052
合計 2,337,624	合計 2,337,624

表3. 2018年度研究奨励賞事業特別基金会計決算（2018.1.1-2018.12.31）

取 入 (円)	支 出 (円)
前年度繰越金 2,142,552	奨励賞賞金 100,000
受取利息 9	
	次年度繰越金 2,042,561
合計 2,142,561	合計 2,142,561

## 会計監査報告書

日本藻類学会の2018年度（2018年1月1日～2018年12月31日）の会計監査にあたり、収入・支出に伴う関係書類及び関係帳簿等を慎重に審査した結果、いずれも正確かつ適正に処理されていることを認めましたので、ここに報告いたします。

2019年3月8日 会計監事 平岡 雅規 印

2019年3月5日 会計監事 鈴木 雅大 印

リンバイオテクノロジー学会大会の協賛(宮崎市・フェニックス・シーガイア・リゾート・コンベンションセンター, 2018年5月26日～27日)。

・会計関係

(1) 2019年2月28日現在の2018年度会費納入率(雑誌発送会員を対象)は、普通会员(国内・一般)97%, 普通会员(国内・学生)113%, 普通会员(外国)84%, 賛助会員86%, 団体会員76%であった。

(2) 2018年度一般会計決算等, その他の事項に関しては審議事項を参照されたい。

・編集関係

(1) 2018年度に発行した英文誌「Psychological Research」66巻1～4号は, 総頁数330頁, 掲載論文数37編であった。

(2) 2018年度に発行した和文誌「藻類」66巻1～3号は, 総頁数192頁, 内訳: 原著論文6報, 藻類最前線6報, その他の報文16報, 日本藻類学会第42回大会プログラム, 学会

録事, その他(博物館と藻類3報, 書評・新刊紹介2報など)であった。

これらに関連した詳細については, 前述の編集委員会・評議員会の項を参照されたい。

【審議事項】

・会計関係

(1) 2018年度一般会計決算報告および同監査報告(会計監事: 平岡 雅規氏, 鈴木 雅大氏)は表1のとおり承認された。

(2) 2018年度山田幸男博士記念事業基金特別会計の決算報告および同監査報告は表2のとおり承認された。

(3) 2018年度研究奨励賞事業基金特別会計の決算報告および同監査報告は表3のとおり承認された。

(4) 2019年度一般会計, 山田幸男博士記念事業基金特別会計, および研究奨励賞事業基金特別会計の予算は表4, 表5および表6のとおり承認された。

表4. 2019年度一般会計予算(2019.1.1-2019.12.31)

取 入 (円)			支 出 (円)		
会 費		4,877,100	和文誌経費		1,800,000
普通(国内・一般)	3,095,600		英文誌経費		5,420,000
普通(国内・学生)	432,250		編集費		300,000
普通(外国)	299,250		和文誌編集補助費	100,000	
団体会員	840,000		英文誌編集補助費	200,000	
賛助会員	210,000		庶務費		367,000
和文誌関係収入		417,850	事務用品費	30,000	
定期購読	111,600		会議費	60,000	
バックナンバー	5,250		通信印刷費	270,000	
別刷・超過頁代	180,000		諸雑費	7,000	
広告代	120,000		幹事旅費補助		80,000
著作権許諾料	1,000		大会補助費		120,000
英文誌関係収入		2,600,000	自然史学会連合分担金		20,000
超過頁代	600,000		分類学会連合分担金		10,000
版權還付金(収入の20%)	2,000,000		レンタルサーバー代		7,000
受取利息		70	AlgaeBaseへの寄付		50,000
			派遣旅費補助		50,000
小計		7,895,020	小計		8,224,000
前年度繰越金		13,037,379	次年度繰越金		12,708,399
合計		20,932,399	合計		20,932,399

表5. 2019年度山田幸男博士記念事業特別基金会計予算(2019.1.1-2019.12.31)

収入(円)		支出(円)	
受取利息	10	各賞用雑費	35,000
		副賞費	80,000
前年度繰越金	2,236,052	次年度繰越金	2,121,062
合計	2,236,062	合計	2,236,062

表6. 2019年度研究奨励賞事業特別基金会計予算(2019.1.1-2019.12.31)

収入(円)		支出(円)	
受取利息	10	奨励賞賞金	200,000
前年度繰越金	2,042,561	次年度繰越金	1,842,571
合計	2,042,571	合計	2,042,571

## ・庶務関係

(1) 2019年度事業計画として以下の事項が承認された：1) 日本藻類学会第43回大会・評議員会・総会（京都大学吉田南キャンパス，2019年3月15日～17日）の開催，2) 和文誌「藻類」67巻1～3号の発行（3，7，11月発行），3) 英文誌「Phycological Research」67巻1～4号の発行（1，4，7，10月発行），4) 日本藻類学会編「藻類事典」（仮称）の出版準備，5) 藻類和名の整理に向けた「藻類和名のワーキンググループ」の活動，6) 日本藻類学会特別賞・岡村賞の授与（2019年3月），募集と選考（2020年3月授与），7) 日本藻類学会学術賞・山田賞の授与（2019年3月），募集と選考（2020年3月授与），8) 第15回日本藻類学会研究奨励賞の選考，授与（2019年3月）と第16回日本藻類学会研究奨励賞の募集（2020年3月授与），9) 第22回日本藻類学会論文賞の授与（2019年3月）と第23回日本藻類学会論文賞の選考（2020年3月授与），10) 自然史学会連合の事業に参加，11) 日本分類学会連合の事業に参加，12) 水産・海洋科学研究連絡協議会の事業に参加，13) AlgaeBaseのスポンサーとしてのサポート，14) 和文誌「藻類」バックナンバーの学会HP上への掲載，15) 学会HPによる情報配信，16) 学会連絡メールによる情報配信。

## ・その他

日本藻類学会第44回大会（2020年3月26日（木）～28日（土））の開催地を鹿児島大学郡元キャンパスとすることが承認された。

## 【日本藻類学会特別賞・岡村賞の授与】

日本藻類学会会則第3条第4号と日本藻類学会学会賞選考規程に基づき，日本藻類学会特別賞・岡村賞の発表と授与が行われた。今回は大野正夫氏が選ばれ，賞状および記念品が授与された。

## 【日本藻類学会学術賞・山田賞の授与】

日本藻類学会会則第3条第4号と日本藻類学会学会賞選考規程に基づき，日本藻類学会学術賞・山田賞の発表と授与が行われた。今回は川井浩史氏が選ばれ，賞状および記念品が授与された。

## 【日本藻類学会研究奨励賞の授与】

日本藻類学会会則第3条第4号と日本藻類学会学会賞選考

規程に基づき，第15回日本藻類学会研究奨励賞の発表と授与が行われた。今回は大沼亮氏（国立遺伝学研究所 細胞遺伝研究系，*Nusuttodinium* 属渦鞭毛藻類の盗葉緑体現象に関する研究），松崎令氏（国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター，彩雪現象を引き起こす氷雪緑藻類の種分類学的研究）が選ばれ，それぞれ賞状および副賞（賞金10万円）が授与された。

## 【日本藻類学会論文賞授与】

第22回日本藻類学会論文賞の発表および授与が行われた。これは2018年に発行された英文誌「Phycological Research」64巻1～4号の中から，規定に従い審査員の投票によって選ばれ，合同編集委員会および評議員会です承されたものである。今回は下記の論文が選ばれ，論文の著者に賞状および記念品が授与された。

Jayvee Ablaña Saco, Akio Murakami, Satoko Sekida, Ichiro Mine.

Chloroplast position and photosynthetic characteristics in two monostromatic species, *Monostroma angicava* and *Protomonostroma undulatum* (Ulvophyceae), having a shared ecological niche

(Phycological Research Vol. 66, Issue 1, pages 58-67, 2018)

## 4. 和文誌「藻類」バックナンバーの学会HPへの掲載状況

2019年6月6日現在，65巻1号までのPDFファイルを閲覧・ダウンロードできる状況。なお，65巻1号～55巻3号のPDF fileは記事ごとのダウンロードが可能。

## 5. 学会HPによる情報配信と記載内容の更新

2019年1月～5月に掲載・更新した内容は，学会資料集（特別賞，学術賞，研究奨励賞，論文賞，大会記録・公開シンポジウム・講習会・採集会），「藻類」第65巻1号の論文PDFファイル，第67巻1号の目次，およびお知らせに掲載した以下の3件です。

- ・アースウォッチ・ジャパン野外調査プログラムの募集
- ・日本応用藻類学会第18回大会のお知らせ
- ・第5回ボルボックス国際会議（Volvox 2019 in Tokyo）登録開始